

特集

次世代への礎を確固たるものに...

動き出したまちづくりの大きな歯車をさらに回転させる

第4次岡谷市総合計画「後期基本計画」2年目！

おかやの将来都市像

「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」

基幹産業である製造業を軸に各種産業の振興を図り、ふるさとを元気に。その活力と子育て支援によって人口を確保し、安定した財政基盤を確立。足腰の強い、健康で生きがいを持って、安全で安心して暮らせるまちの実現をめざします。



「みんなが元気に輝くたくましいまち岡谷」の実現に向けた6つの重要施策（新病院建設、新消防庁舎建設、湖周地区ごみ処理施設整備、新美術考古館や新蚕糸博物館の移転整備、看護専門学校設置）の進展により、安全・安心の生活基盤が順調に整備されつつあるなかで迎えた平成27年度は、「次世代への礎を確固たるものにする年」。厳しい財政状況下にも、しっかりと前を向き、伸びやかな発展をめざします。

また、国とともに、地方創生に動き出す重要な年とも位置づけ、人口減少や少子高齢社会に対応した魅力あふれる「まちづくり、ひとづくり、しごとづくり」へ、新たに揺るぎない挑戦をしていきます。未来へ多くの夢と希望を描き、健康で生きがいを持って暮らしていくために...

重点プロジェクトにもとづく効率的な予算配分で事業を展開 新年度の重要施策は…

「新病院建設事業」

本年8月の竣工をめざして、施設整備もいよいよ最終段階。後世に財産として引き継ぐことができる病院を完成させるよう、周辺環境の整備も含め、最後まで安全性と建物品質に留意して工事を進め、10月開院へ確実に歩を進めます。

4月に、新病院長として前信州大学医学部附属病院長の天野直二先生を迎えました。平山病院事業管理者、病院職員とともに、新病院への安全で確実な移転を実施し、市民のみなさんの期待と信頼に応える、思いやり医療の充実強化に全力を尽くします。



「新消防庁舎建設事業」

4月1日から、一元化により、新体制となった諏訪広域消防の基幹消防庁舎として、岡谷市はもとより、諏訪地域全体の安全・安心を支える防災・救急救助拠点となり、その機能を果たすべく業務を開始しました。

新しい消防指令センターは、諏訪地域全域の119番通報を一括受信・処理。的確な状況判断のもと、各消防署・分署へ指令通信を行い、災害初期の活動を充実強化。被害の軽減や救命率の向上を図ります。



「湖周地区ごみ処理施設整備事業」

平成28年9月の稼働に向け、湖周行政事務組合による建物本体工事を、引き続き着実に進めていきます。なお、国の循環型社会形成推進交付金の平成27年度事業分が前倒しで確保できていることから、事業推進にいつそうの弾みを期待し、補正予算対応を行いました。

完成予想図



平成27年度予算

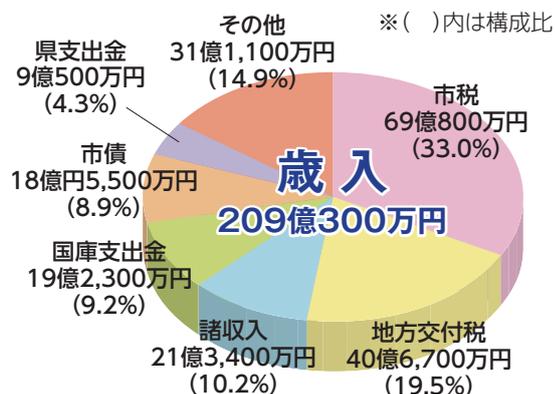
◆平成27年度予算一覧

※前年度比較の△印は、減額を意味します。

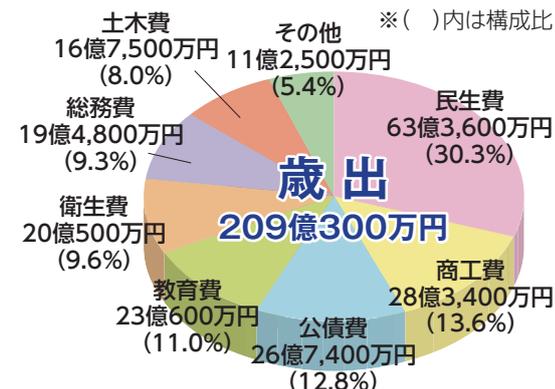
会計名		予算額	前年度比較
一般会計		209億300万円	△4億4,900万円
特別会計	国民健康保険事業	58億9,420万円	8億2,760万円
	地域開発事業	4億8,080万円	△1億4,610万円
	分収造林事業	2,530万円	190万円
	霊園事業	1,390万円	△80万円
	温泉事業	1,880万円	△90万円
	訪問看護事業	4,810万円	750万円
	後期高齢者医療事業	7億270万円	△930万円
	計	71億8,380万円	6億7,990万円
湊財産区一般会計		440万円	△250万円
企業会計	水道事業	12億4,080万4千円	△6,055万5千円
	下水道事業	29億436万円	△1億5,847万円
	病院事業	133億5,602万5千円	△36億9,848万7千円
	計	175億118万9千円	△39億1,751万2千円
合計		455億9,238万9千円	△36億8,911万2千円

※企業会計の金額は、収益的支出と資本的支出の合計です。

◆一般会計の歳入(市の収入)



◆一般会計の歳出(市の経費)



おもな事業と予算のあらまし

1 たくましい産業の創造

「創業のまち岡谷実現事業」(新規)

「創業者総合支援事業」

560万円

「創業支援事業計画」に基づき岡谷商工会議所と連携して実施する、「創業塾」などの特定創業支援事業の受講者を対象に、広告宣伝費および機械・備品購入費を支援することにより、開業後間もない市内中小企業者に対する支援を拡充。新規創業を促進し、地域経済の活性化と雇用拡大を図る。

「新技術・新製品等ものづくりチャレンジ企業応援事業」

1,430万円

市内企業が単独または産学共同で新技術・新製品の開発を行う場合に、開発などに係る経費に対して助成を行い、企業の競争力の強化と新たな事業の創出を図る。

「展示会出展事業」(拡充)

749万円

自費での展示会出展が難しい個人企業や中小企業の製品を市のブースで共同展示することにより、市内企業の受発注のあっせんを行い、新規受注の確保を図る。

平成27年度は3つの展示会(東京、大阪、名古屋)に出展するほか、6月に豊田市で開催される「新技術・新工法展示商談会」へ、市内企業が積極的に出展できるよう支援を行う。

「商業活性化補助金」

652万6千円

空き店舗の改修、既存店舗の改修および賃借料の助成を行うことで、まちなかの賑わい創出と商店街の活性化を図る。

「蚕糸博物館企画展等開催事業」(新規) 350万円

蚕糸博物館の開館1周年を記念した企画展を開催するとともに、動態展示と相乗効果を図った静態展示(企画展)を行い、「おかやブランド」の拠点として、シルク文化の伝承を行う。

「鳥獣被害軽減対策事業」

1,048万6千円

緩衝帯や電気柵を設置するほか、鳥獣の頭数軽減のために、おり、わな、銃器による駆除の継続実施や、二ホンジカの駆除にあたる「捕獲実施隊(非常勤特別職)」に対する支援を拡充し、農業被害や林業被害の軽減などを図る。



2 輝く子どもの育成

「いきいきママ応援講座開催事業」(新規) 15万6千円

同じ月齢の子どもを持つ母親同士の交流の場を設け、育児不安の解消と相談を通じた子育て支援を行う。対象者は、乳幼児健診の中間時期となる7~8か月の子どもを持つ母親とし、午前10時から概ね2時間程度を予定。

「おかや子ども・子育てフォーラム開催事業」(新規)

6万円

平成27年度は第3次岡谷市児童育成計画(岡谷市子ども・子育て支援事業計画)の初年度となることから、家庭、地域、企業、行政などが一体となって子育て支援に取り組むため、地域で子育て支援を行っている団体を召集し、懇談会(5月頃を予定)を開催する。

「保育時間・長時間保育拡大事業」(新規) 568万7千円

「子ども・子育て支援新制度」の施行により、保護者の就労状況などに応じて保育時間を認定するため、全園で長時間保育を実施するとともに、土曜日の保育時間を午後6時30分までに見直す(長時間保育実施園:H26 10園 → H27 14園)。また、保育料などの見直しを行い保護者負担の軽減を図る。

(次ページへ続く)



2 輝く子どもの育成

「学校統合施設整備事業」

1億7,540万円

岡谷小の統合先となる田中小および神明小の児童数増加に対応するため、必要となる施設整備等を実施し、平成28年4月からの学校統合の円滑かつ確実な実施を図る。

田中小では、教室の再配置により必要となる改修を行うほか、新たに学童クラブ(3室)、LD等通級指導教室(1室)の機能を有する建物を新設。神明小においても、必要となる改修を実施する。なお、平成24年度より実施している岡谷小の地盤観測業務についても、引き続き実施する。

「岡谷西部中学校耐震改築工事」

3億4,160万円(うち補正予定 700万円)

耐震診断結果に基づき、耐震補強等が必要とされる小中学校の改修・改築を年次的に実施し、児童・生徒の安全確保と教育環境の整備を図る。平成27年度は、仮設校舎の設置、管理教室棟の解体および建設工事などを、平成28年度は、第2体育館およびプールの建設工事などを行い、2か年で総額13億1,500万円の事業に取り組む。(平成29年4月供用開始予定)

「小中学校非構造部材耐震化事業」

2億9,360万円

東日本大震災を契機に、屋内運動場など大規模空間におけるつり天井などの非構造部材の耐震化について、文部科学省による耐震化対策として目標とされている平成27年度の完了に向けて、10小中学校の大小体育館の照明器具、バスケットゴールなどの非構造部材の耐震化工事のほか、田中小学校大体育館の屋根、外壁改修工事を行う。

「学童クラブ整備事業」(新規)

350万円

「子ども・子育て支援新制度」の施行に伴い、学童クラブの利用学年を小学校6年生までに拡大し、開設時間も午後6時45分まで延長するほか、児童数の増加に対応するため、神明小および小井川小に第2学童クラブを整備し、子育て支援の充実と、子どもたちの健全な育成を図る。



3 安全・安心の伸展

「岡谷市看護専門学校運営事業」

1億1,889万6千円

県内で唯一の全日制2年課程の看護専門学校として、准看護師が看護師資格を得るために必要な学びの場を確保するとともに、地域の看護師の養成と確保を図る。

平成27年度は、看護専門学校の運営上必要な用途変更工事などを行い、学生の安全の確保と施設の充実を図る。

「生活困窮者自立支援事業」(新規)

325万7千円

生活困窮者自立支援法に基づき、生活保護に陥る前の自立支援を強化するため、「岡谷市生活就労支援センター(まいさぼ岡谷市)」を開設し相談を行うほか、住宅確保のための給付金の支給などを実施し、自立した生活ができるよう支援を行う。

「住宅防災・減災事業」(拡充)

581万4千円

住宅耐震診断・耐震改修補助事業と危険住宅移転事業を統合し、「住宅防災・減災事業」とするほか、耐震改修促進法の改正により、住宅であっても耐震診断および改修が努力義務化となったことなどから、改修費に係る助成の限度額を引上げ、更なる耐震改修の促進を図る。

「総合防災訓練事業」(新規)

49万2千円

行政機関や防災の関係機関、団体、地域住民が相互に連携して、3年に一度の総合防災訓練を実施し、災害時における円滑な対応と地域防災力の向上を図る。7月19日に湊小で実施予定。

「消防団員活動服整備事業」(新規)

933万3千円

国の「消防団員の装備の基準」を考慮し、動きやすく安全性にすぐれた活動服を全消防団員(549人)に配備し、災害活動時の安全確保と装備の充実を図る。

「消防団無線整備事業」(新規)

320万円

現在使用している消防団の無線機が平成28年5月末で使用期限が終了することから、携帯型無線機(27台)を更新し、指揮命令体制の継続的な確保を図る。



4 そのほか

「再生可能エネルギー等活用補助金」(新規) 395万円

第3次岡谷市環境基本計画の地球温暖化防止施策として、太陽熱利用設備(新規)、地中熱利用設備(新規)のほか雨水貯留施設の設置に要する経費に対し補助を行い、地球温暖化防止や資源の有効活用、環境負荷低減といった地球環境保全の推進を図る。

「上下水道施設整備事業」 6億3,300万円

上水道事業では、「岡谷市水道事業計画」に基づき、年次計画で老朽化した水道施設の更新、再構築、耐震化整備を進める。下水道事業では、主に「塚間川流域浸水被害対策プラン」に基づく雨水渠を整備するほか、下水道施設の地震対策工事や耐震化、長寿命化を含めた計画的な改築工事を行う。

「美術考古館地域プログラム開催事業」 118万3千円

開館2周年記念並びに第5次岡谷市生涯学習推進計画に基づき、岡谷市が輩出した「武井直也」の画業を顕彰する展覧会(平成27年10月～11月の予定)を開催するほか、学校ほか市内の公共施設に点在している作品のクリーニング活動などによる地域交流プログラム(平成27年7月～11月の予定)を実施し、郷土から輩出された芸術家への愛着心の醸成、美術考古館の利用促進などを図る。

「岡谷市文化会館大規模改修事業」 3,500万円

岡谷市文化会館は、建設から約26年が経過し設備関係の老朽化が進んでいるため、年次計画的に改修を行い、ホールとしての機能を維持するとともに、運営上の安全を確保することで、利用者の拡大と利便性の向上を図る。平成27年度は、大ホール音響設備の更新を行う。

「岡谷駅前地区調査検討事業」(新規) 360万円

駅前地区は、平成20年の再整備事業先送りから6年が経過することから、再整備の可能性を探るため、開発手法の検討やマーケット調査などを行う。

「旧庁舎施設管理事業」(新規) 652万3千円

登録有形文化財に指定されている旧市役所庁舎について、経年劣化による外壁などの改修工事を行うほか、適正な施設の維持管理により、岡谷市の歴史を示す象徴的な建造物である旧庁舎を、良好な状態で後世に引き継ぐ。



「道水路等新設改良事業及び維持補修事業」

5億1,771万3千円

道水路等新設改良事業では、長地286号線、市道17号線整備など計画的整備のほか、幅員4m以上を基本とした生活道路整備のため、道路の新設、現道の拡幅、視距改良、交差点改良、道路側溝・水路等排水施設整備、舗装の改築などを実施する。安全対策として「通学路交通安全対策事業」や「ゾーン30整備事業」を継続実施し、児童の登下校や地域住民の安全な通行を確保する。

維持補修事業では、32号線(湖岸通り線)の舗装・側溝工事のほか、11号線(今井通り線)など、市道の計画的・予防的維持・修繕工事を行い、施設の長寿命化と安全で快適な道路環境を保持する。また、岡谷738号線についても早期復旧に向けて整備を実施する。

「社会保障・税番号制度(マイナンバー)付番交付事業」(新規)

「社会保障・税番号制度(マイナンバー)住民行政システム改修事業」

5,501万2千円

マイナンバー制度の開始に向け、住民基本台帳システムなどの改修を行うほか、10月の個人番号の通知、および28年1月からの個人番号カード交付業務の開始に向け、窓口対応などの準備を進める。

「ふるさと寄附金 寄附促進事業」(新規) 113万6千円

市内企業や事業者などの協力により、ふるさと納税で寄附された人へ岡谷市の特産品を贈り、商業の活性化とふるさと納税の促進を図る。

「公共施設等総合管理計画策定事業」(新規)

28万7千円

公共施設の更新、統廃合、長寿命化など、長期的な視点により財政負担を軽減・平準化するため、総合的かつ計画的な管理に対する基本方針を定めた「公共施設等総合管理計画」を策定する。

以下の事業は、国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援のための交付金を利用し、平成27年度に実施していきます。(平成26年度補正予算対応)

「地方創生先行型交付金事業」

●岡谷市版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等策定事業

1,100万円

- 岡谷ブランドマネジメント事業 708万円
- シルク岡谷情報発信事業 630万円
- 出会いの場創出支援事業 120万円
- 新技術・新製品等開発企業応援事業 1,490万円
- 岡谷市ひと・しごと総合相談事業 610万円
- 創業者総合支援事業 410万円
- 創業のまち岡谷実現事業 150万円
- 移住・交流産業振興事業 415万円
- 信州シルクロード連携事業 45万9千円

「地域消費喚起・生活支援型交付金事業」

●岡谷プレミアム商品券発行事業 7,900万円